

「ヒントください」

日時 | 2019 年 10 月 18 日 (金) 18:00-20:00

場所 | カフェ麴中 (東京都文京区本郷 2 丁目 35-10 本郷瀬川ビル 1F)

テーマ | 治水 × 伝統 × デザイン =

趣旨 | 毎年のように発生する豪雨、世界的な気候変動による洪水リスク上昇
従来の「川だけが頑張る」治水システムでは、私たちの暮らしを守るのが難しくなっている
これからは、まさに洪水を計画的に氾濫させることも含め
「まちと川と一緒に頑張る」治水システムへの転換が必要だ
現代の治水技術と伝統的な治水技術、そして空間デザインを融合することで
日本の風土にあった、洪水に強く、魅力的な地域づくりが実現できるのではないだろうか
土木設計家として、地域の魅力づくりに取り組んできた篠原修氏
河川技術者として、川と地域の新しい関係づくりに取り組んできた宮本博司氏
川とまちの垣根にとらわれないお二人を囲み
洪水との共生に向けた教育のあり方、河川行政と都市計画行政の協働の仕組みづくりなど
いま、私たちが取り組むべきことについて知恵を出し合いたい

話し手 |



篠原 修

東京大学大学院工学系修士課程修了後、アーバンインダストリー、東京大学農学部林学科助手、建設省土木研究所、東京大学工学部教授、政策研究大学院大学教授などを歴任。工学博士。主な著書に『土木造形家百年の仕事』、『土木デザイン論』など。主な設計指導に、勝山橋、油津堀川運河、桑名住吉入江、津和野川、苫田ダム、日向市駅、旭川駅など。



宮本 博司

京都市生まれ。京都大学大学院修士課程土木工学修了後建設省入省。苫田ダム工事事務所長、長良川河口堰建設所長、国土交通省河川局建設専門官、調整官、淀川河川事務所長、近畿地方整備局河川部長を経て、国土交通省防災課長を最後に、国土交通省退職。2007 年より淀川水系流域委員会委員長、2014 年水循環基本法フォローアップ委員、現在、株式会社樽徳商店代表取締役。

聞き手 | 二井昭佳 国土館大学 教授 / 崎谷浩一郎 株式会社イー・エー・ユー

主催 | 特定非営利活動法人 GS デザイン会議

定員 | 50 名 (先着順、参加無料、非会員可)

申し込み⇒GS デザイン会議事務局 (メール: info@groundscape.jp) へ

「お名前」「一般 or 学生」「御所属」をご連絡ください。

もしくは右の QR コードの申し込みフォームからお申込みいただけます。

